

少子化対策に関する区民意識調査結果

子ども・子育て計画担当課

葛飾区子ども・若者総合計画（素案）への反映

葛飾区少子化対策区民意識調査の調査結果を踏まえた課題に対して方向性を示すとともに、その課題に対応した施策を総合計画に位置付けることで、結婚・妊娠・出産等を希望する若者や妊娠・出産・子育てを希望する子育て家庭への支援につなげるもの

1 調査結果を踏まえた課題

子どもを持つことについて

(1) 課題

- ・今後、子どもを欲しいかについての問いに対して、「子どもを欲しい」と回答した方のうち、「現在妊活をしていない」との回答が4割を超えている。(P.31問19とP.41問25をクロス集計)
 - このうち、現在妊活をしていない理由についての問いに対して、「妊活に必要な経済的な負担が大きく、経済的な理由から取り組むことができない」との回答が2割を超えている。(P.31問19、P.41問25とP.42問26をクロス集計)
- ・理想の数の子どもを持つために必要な条件についての問いに対して、「経済的な安定や十分な収入」との回答が9割を超えている。(P.34問22参照)
- ・子育て費用の中で特に負担とを感じるものや負担と予想されるものの問いに対し、「医療費の負担」が2割を超えている。(再掲)(P.37問24参照)

(2) 課題に対する主な方向性

- ・希望する世帯が子どもを持つことができるよう、特定不妊治療とともに自費で実施した先進医療に係る医療費に対する経済的な支援を行います。
- ・妊娠中や出産後における支援の充実を図るため、妊婦や子育て家庭に対する経済的な支援を行います。
- ・妊産婦や乳幼児等の医療費などを助成することで、母子の健康を維持するための支援を行います。
- ・引き続き、子どもを産み育てる家庭の身近な相談に一貫して応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型支援の充実を図るとともに、出産・子育て応援ギフト給付事業やかつしか出産応援給付金等の経済的支援を実施していきます。
- ・子育て家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う子ども・若者の健やかな成長に資するため、引き続き、様々な経済的支援を実施します。

(3) 課題に対応した施策

- ・基本方針1 施策1 少子化対策に関する支援

施策 2 親子の健康づくりの推進

- ・基本方針 3 施策 2 子ども・若者が育つ家庭への経済的支援

母子の健康について

(1) 課題

- ・子育て費用の中で特に負担とを感じるものや負担と予想されるものについての問いに対して、「医療費の負担」が2割を超えている。(P. 37 問 24 参照)
- ・少子化対策として、自治体が取り組むべきと考える具体的な事業や取組についての問いに対して、「子どもの医療・健康支援策の充実」が5割近くになっている。(P. 55 問 34 参照)

(2) 課題に対する主な方向性

- ・定期的な健康診査や保健指導を通じて、親子の健康状態を把握し、保護者・養育者を含め、子どもが健やかに育つための支援を行います。
- ・栄養指導や栄養教育を通じて、望ましい食生活を促進し、子どもの健やかな成長を支援します。
- ・妊産婦や乳幼児等の医療費などを助成することで、母子の健康を維持するための支援を行います。
- ・精神疾患や精神障害に関する悩みや不安を解消するために、医師や保健師による相談を行い、心身の安定や安心への支援を行います。また、自殺予防の正しい知識を普及させます。

(3) 課題に対応した施策

- ・基本方針 1 施策 2 親子の健康づくりの推進
- ・基本方針 4 施策 2 心身の安定・安心への支援

希望する若者の結婚について

(1) 課題

- ・結婚願望の有無についての問いに対して、結婚に前向きな回答が9割近くとなっている。(P. 12 問 9 参照)
→このうち、「現在婚活をしていない」との回答が8割近くを占めている。(P. 12 問 9 と P. 17 問 12 をクロス集計)
- ・現在婚活をしていない理由についての問いに対して、「出会いの機会が少ないため」との回答が4割近くとなっている。(P. 18 問 13 参照)
- ・結婚したら気になることについての問いに対して、「家事や育児の負担」との回答が6割近くを占めているほか、「仕事やキャリアへの影響」との回答が3割を超えている。(P. 23 問 15-1 参照)

(2) 課題に対する主な方向性

- ・男女を問わず性や妊娠・出産に関する正しい知識を得て、それを踏まえたライフプランの作成や健康管理に取り込むことで、区民が安心して妊娠・出産、子育てできることを推進します。

- ・結婚を希望する若者同士の出会いの機会を創出するための支援を行うとともに、出会いの機会創出に向けて活動する団体の支援などを行います。
- ・ワーク・ライフ・バランスの実践を促進するため、その意識やライフイベントに応じた多様な働き方等に関する講座や講演会などを開催します。
- ・区内中小企業を対象にワーク・ライフ・バランス支援アドバイザー（社労士）を派遣し、ワーク・ライフ・バランスの啓発及び育児・介護休業法に則った就業規則の整備を支援します。また、育児休業制度の定着を図るため、区内の企業向けにセミナーを開催します。

(3) 課題に対応した施策

- ・基本方針1 施策1 少子化対策に関する支援
- ・基本方針2 施策4 若者の生活支援
- ・基本方針5 施策1 地域による子ども・若者への支援

仕事と子育ての両立について

(1) 課題

- ・理想とする人生についての問いに対して、「子育てと仕事の両立を図りたい」との回答が約5割となっている。（P.26 問16 参照）
- ・理想の数の子どもを持つために必要な条件についての問いに対して、「家庭と仕事の両立がしやすい環境」との回答が約8割となっている。（P.34 問22 参照）

(2) 課題に対する主な方向性

- ・少子化の進行や保育需要の増加に対応できるよう、地域の保育需要と保育定員の均衡を保ち、年間を通して利用しやすい保育環境を実現します。
- ・ワーク・ライフ・バランスの実践を促進するため、その意識やライフイベントに応じた多様な働き方等に関する講座や講演会などを開催します。
- ・区内中小企業を対象にワーク・ライフ・バランス支援アドバイザー（社労士）を派遣し、ワーク・ライフ・バランスの啓発及び育児・介護休業法に則った就業規則の整備を支援します。また、育児休業制度の定着を図るため、区内の企業向けにセミナーを開催します。

(3) 課題に対応した施策

- ・基本方針1 施策5 仕事と子育ての両立支援
- ・基本方針2 施策4 若者の生活支援
- ・基本方針5 施策1 地域による子ども・若者への支援

2 その他

葛飾区少子化対策区民意識調査結果 別紙のとおり